

笑顔未来につなげよう セーフコミュニティ こおりやま



Safe & Community



セーフコミュニティとは・・・

セーフコミュニティとは、「けがや事故は、原因を究明することで予防できる」という理念のもと、市民の皆さんと行政や関係機関、団体、組織等が協働で安全・安心に暮らすことができるまちづくりに取り組む地域のことです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



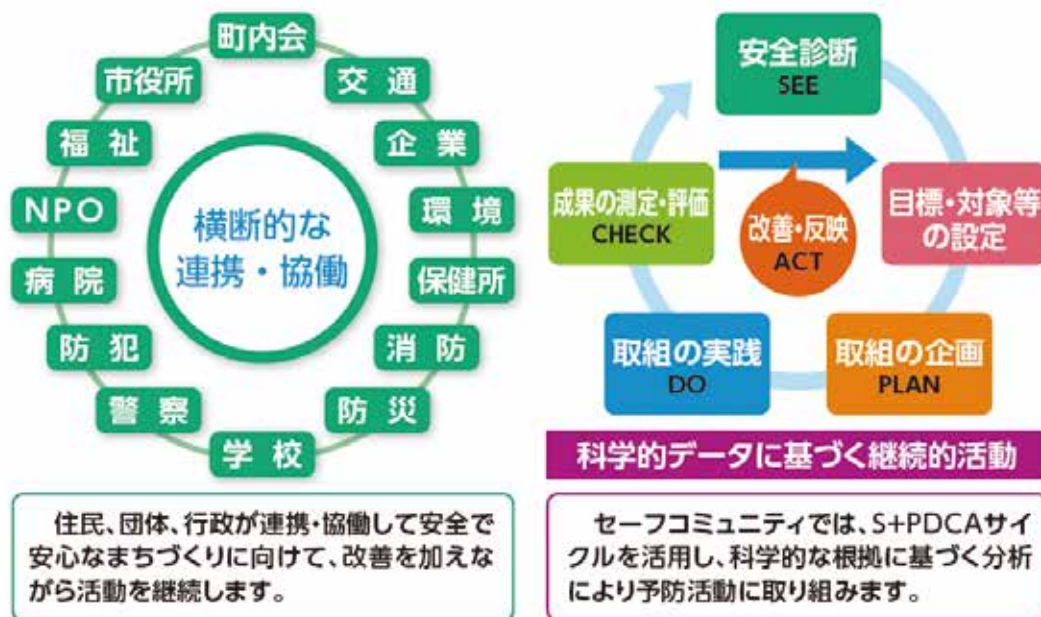
セーフコミュニティとは

キーワードは「協働」と「データ」

セーフコミュニティに取り組む上でのキーワードは、「**協働**」と「**データ**」です。

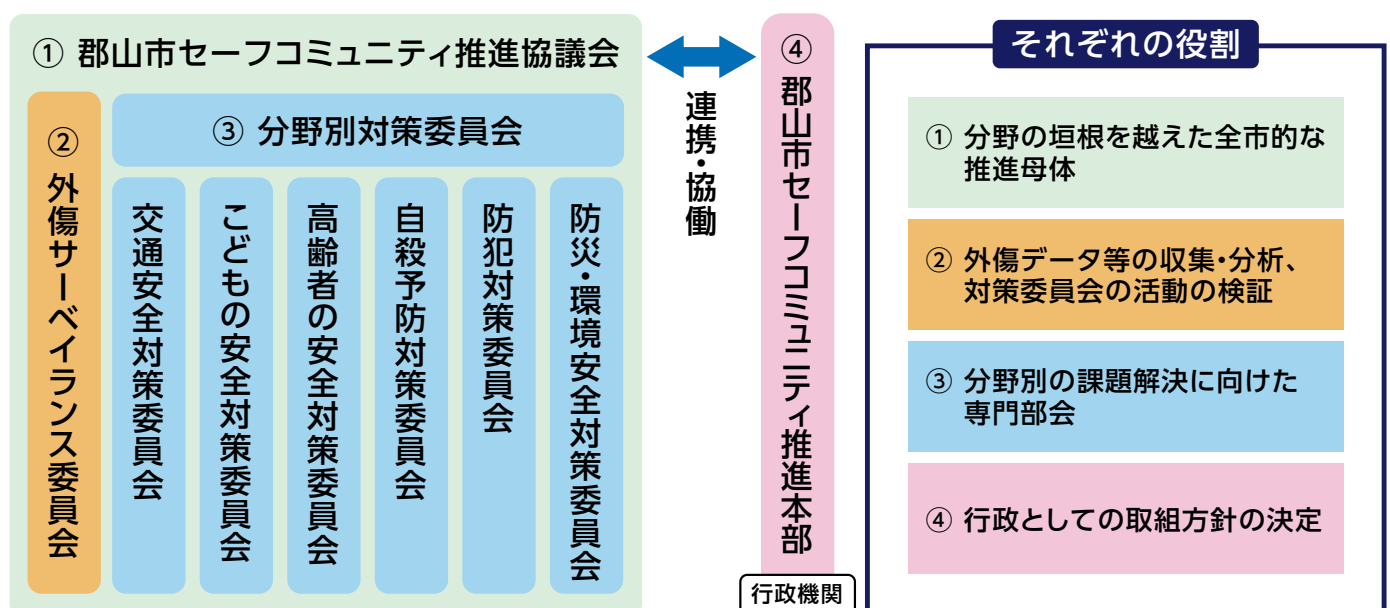
はじめに、「けが」や「事故」をデータから分析して、その原因を究明します。

そして、原因が分かったら、けがや事故を減少させるために必要な対策を考え、地域住民や団体、行政等が連携・協働により、対策を実施することで、安全で安心なまちを目指します。



既存の団体のけがや事故の予防活動に他の団体と情報を共有して一緒に活動する「**協働**」と科学的な根拠に基づく「**データ分析**」を加えれば、まさにそれがセーフコミュニティ活動です。

郡山市のセーフコミュニティ推進体制



郡山市では、地域の団体、機関など様々な分野の43団体で構成する郡山市セーフコミュニティ推進協議会(会長:郡山市長)を推進母体とし、6つの分野別対策委員会により具体的な活動を進めるとともに、外傷サーベイランス委員会がデータの収集や専門的な評価を行っています。

郡山市のセーフコミュニティ活動

2023年(令和5年)のセーフコミュニティ再認証を目指しています

2014年	11月	セーフコミュニティ取組宣言
2015年	5月	推進協議会、外傷サーベイランス委員会設置
	7月	6つの分野別対策委員会開始
2016年	11月	認証審査員による事前指導
2017年	11月	認証審査員による現地審査、認証内定
2018年	2月	認証取得(県内初、国内15番目、世界で391番目)



S+PDCAによる
活動を継続



2021年	11月予定	認証審査員による事前指導
2022年	11月予定	認証審査員による現地審査
2023年	2月予定	再認証取得

セーフコミュニティ活動の事例(S+PDCAサイクルの活用)

①SEE (安全診断)



郡山市のけがや事故件数は
どれくらいある?
どんな事故が多い?
地域のけがや事故について、
データで確認してみよう!

改善を加えながら①～⑤を繰り返すことで
「けがや事故」の減少につなげます!

⑤ACTION (改善・反映)

高齢者の交通事故を減らせないかな。
免許返納制度や反射材の周知をしたら、もっと
効果があるかも!



②PLAN (取組の企画)

交通事故が多いな。
どうすれば減らせるかな?
街頭活動して注意喚起し
てみては?



高齢者の家庭内での事
故も気になる。高齢者の
筋力低下の防止のため何
かできないかな?



③DO (取組の実践)



交通安全街頭啓発



いきいき百歳体操

④CHECK (成果の測定・評価)

意識・行動の変化

交通安全活動を現在行っている
12.4% → 64.4%
2014年 2020年
第1・4回郡山市セーフコミュニティ市民意識調査

結果の変化

交通事故件数の減少
484件 → 277件
2014年 2019年
平成27、令和2年版交通白書

意識・行動の変化

高齢者の安全・安心活動を現在行っている
12.0% → 43.9%
2014年 2020年
第1・4回郡山市セーフコミュニティ市民意識調査

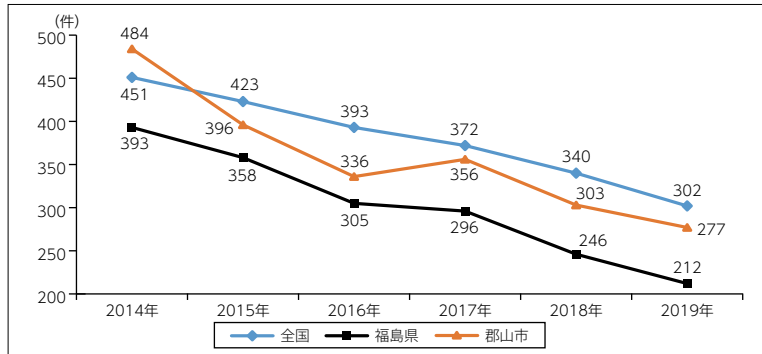
結果の変化

高齢者の救急搬送の減少
1,337件 → 1,248件
2014年 2020年
平成26、令和2年救急搬送データ

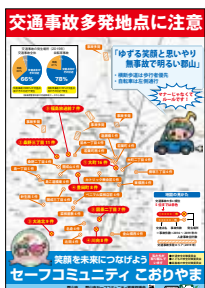
分野別対策委員の取組をご紹介します

交通安全対策委員会

交通事故の発生状況(人口10万人あたり)



警察庁「平成27～29年、令和2年 警察白書」、福島県警察本部「平成27年～29年、令和元年～2年版交通白書」より



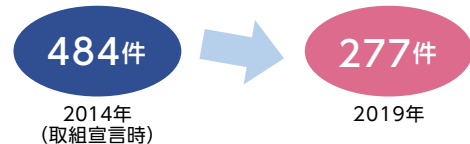
交通事故多発地点マップ



交通安全街頭啓発活動(7月)

交通事故の発生状況

◆郡山市では交通事故の発生件数が大幅に減少。(人口10万人あたり)



交通安全対策委員会の取組の一例

◆交通事故多発地点マップの更新

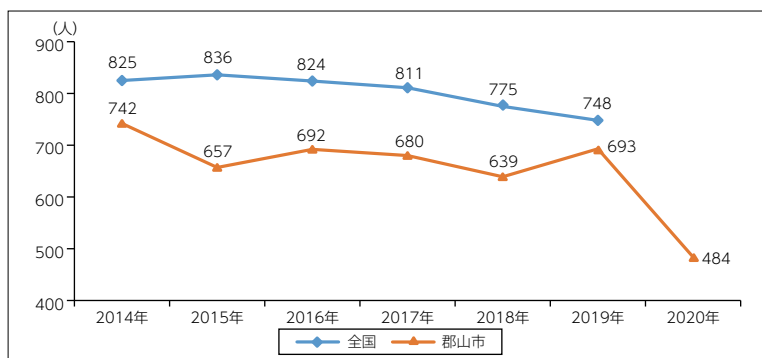
2016年～2019年に交差点で発生した人身事故数を集計し、新たな事故多発地点マップを作成。

◆交通安全街頭啓発活動実施(7月)

自転車を利用した通勤・通学の方を中心に、自転車の走行マナーやルール等を指導したほか、チラシ等を配布。

こどもの安全対策委員会

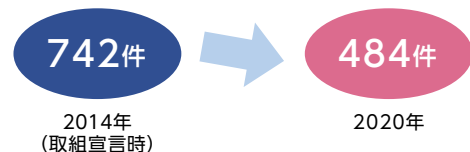
交通事故及び一般負傷で救急搬送された子ども(0歳から17歳まで)の推移(人口10万人あたり)



総務省消防庁「平成27年～令和2年版消防白書」、郡山地方広域消防組合「平成26年～令和2年救急搬送データ」より

救急搬送された子ども(0歳～17歳)の推移

◆全国的に減少傾向にあるが、郡山市では大幅に減少。(人口10万人あたり)



こどもの安全対策委員会の取組の一例

◆子どもの事故防止チラシの作成

自宅での事故を防止するためのチェックリストと、ニコニコこども館4階にある「事故予防モデルルーム」の紹介を掲載したチラシを、保育所や幼稚園に通う子どもの保護者へ配布。

◆児童虐待防止講座

企業等に出向いて講座を開催。

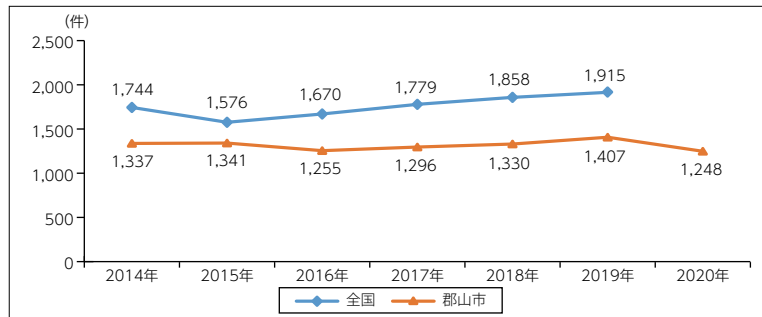


子ども事故防止チラシから抜粋

分野別対策委員の取組をご紹介します

高齢者の安全対策委員会

一般負傷で救急搬送された高齢者の推移 (人口10万人あたり)



総務省消防庁「平成27年～令和2年版消防白書」、郡山地方広域消防組合「平成26年～令和2年救急搬送データ」より



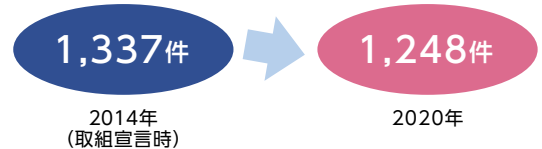
高齢者に多い事故を防ぐためのチラシ



いきいき百歳体操

一般負傷で救急搬送された高齢者の推移

◆全国的には増加傾向にあるが、郡山市では減少傾向である。(人口10万人あたり)



高齢者の安全対策委員会の取組の一例

◆チラシの作成

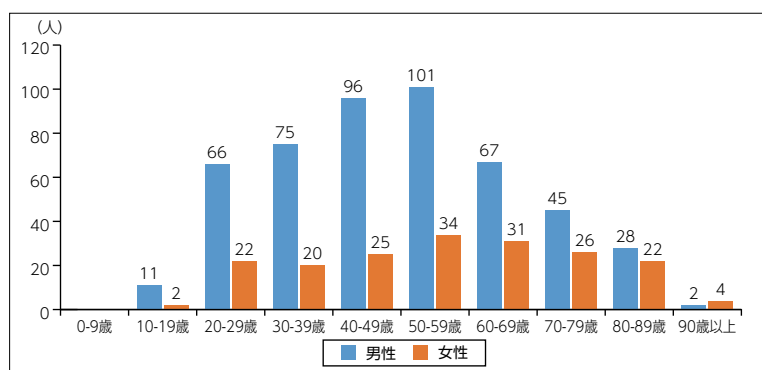
家の中で起こりやすいけがや事故の予防啓発チラシを配布。

◆いきいき百歳体操の実施

三密を避け、工夫しながら体操を実施。コロナ禍における高齢者の筋力低下の防止に努める。

自殺予防対策委員会

郡山市の年代別男女別自殺者数(2009～2018累計)



郡山市保健所「平成21～30年人口動態統計」より



自殺予防キャンペーン(9月)



◀ショッピングセンターなどを活用したパネル展示



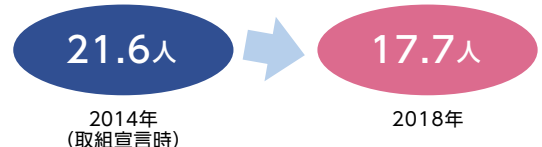
郡山駅を利用した啓発▶



自殺者の推移

◆郡山市における自殺者数は増減を繰り返しているものの減少傾向にある。

自殺死亡率(人口10万人あたり)



自殺予防対策委員会の取組の一例

◆自殺予防キャンペーンの実施

自殺予防の周知啓発を目的に、チラシ等を配布する街頭活動を郡山駅前で実施(9月)。

《参加者》

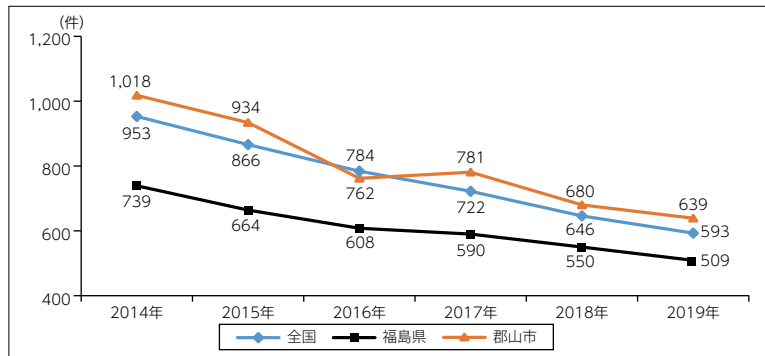
- ・自殺予防対策委員会
- ・福島県理容生活衛生同業組合郡山支部
- ・日本たばこ産業株式会社郡山第一支店

◆パネル展示等を活用した予防啓発

分野別対策委員会の取組をご紹介します

防犯対策委員会

刑法犯認知件数の推移(人口10万人あたり)



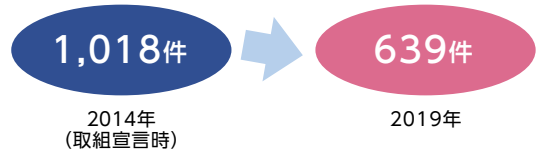
警察庁「平成27年～令和2年警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「平成26～令和元年地域安全白書」より



防犯ステッカー

刑法犯認知件数の推移

◆郡山市では犯罪件数の数が大幅に減少。
(人口10万人あたり)



防犯対策委員会の取組の一例

◆防犯対策チラシ、シールの作成

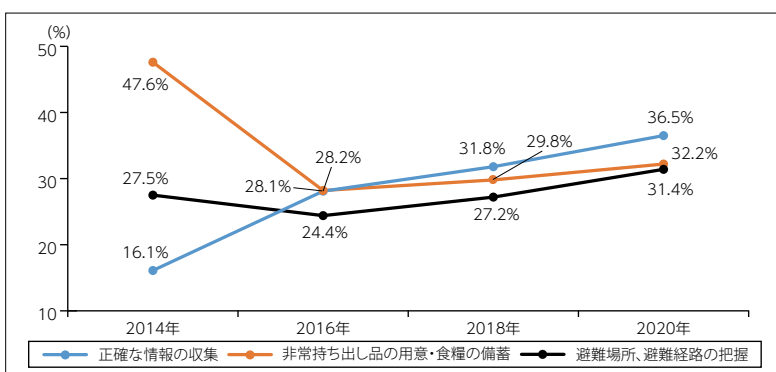
防犯意識の向上のため、なりすまし詐欺への対策や、防犯カメラ、ドライブコーダー設置の啓発等を掲載したチラシや、なりすまし詐欺撃退シールを作成。

◆防犯ステッカーの配布

福島県内での空き巣被害の増加を捉え、未然防止に向け防犯ステッカーを配布。

防災・環境安全対策委員会

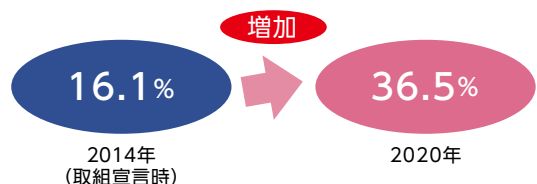
家庭で行われている主な災害への備え



「第1～4回郡山市セーフコミュニティ市民意識調査」より

正確な情報の収集についての推移

◆郡山市のメールマガジンやSNSなどに登録して正確な防災情報の収集を行っている家庭は年々増加している。



防災・環境安全対策委員会の取組の一例

◆防災情報の発信

気象情報や災害情報、住民避難情報等を様々な方法で発信するとともに、メールやTwitterなど、防災情報入手方法をまとめたチラシを配布。

◆新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた「避難所開設訓練」

各種団体が連携し避難所開設を実施。



災害情報配信チラシ



コロナ禍での「避難所開設訓練」



ツイッターで安全・安心情報発信中

「セーフコミュニティこおりやま」のツイッターアカウントにて安全・安心につながる情報やセーフコミュニティ活動の取組事例などを紹介しています！

アカウントをお持ちの方は、ぜひフォローをお願いします！



セーフコミュニティ推進事業所を募集しています

郡山市内において安全・安心に関する活動に取り組む企業・団体や事業所を募集しています。皆さまのお申込をお待ちしています！

【申込方法】

参加登録申込書をメール、FAX、郵送、持参いずれかの方法でお申し込みください。

市ウェブサイトからも直接申込可能です。

【登録した場合】

・参加事業所の証として「推進事業所ステッカー」を掲示いただきます。

・市ウェブサイトやセーフコミュニティ通信などで事業所の安全・安心活動をPRします。

【活動事例】



詳細についてはこちら
(市ウェブサイト)



運転前のチェックリストによる体調確認



外出時の見守り活動



地域の防災訓練への参加



セーフコミュニティ活動推進事業所ステッカー

セーフコミュニティについてご説明します

「きらめき出前講座」

郡山市では、セーフコミュニティへの理解促進のため「きらめき出前講座」を行っています。

説明時間は、10分程度から2時間程度まで幅広く対応し集会所や会議場、スポーツ大会の会場など、どんな場所にでもお伺いして、セーフコミュニティについてお話しします。

詳しくは、郡山市セーフコミュニティ課(☎924-2151)までお気軽にお問合せください。



市政へのご意見をお寄せください

郡山 みなさんの声

検索



SDGs(エスディージーズ)とセーフコミュニティ

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、経済・社会・環境をめぐる広範な課題について、全ての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」世界の実現を目指す国際目標です。セーフコミュニティ活動の推進は、SDGsの達成に大きく寄与するものです。



セーフコミュニティを活用しSDGsの目標へ向かって進んでいきます!!

(一社) 磐梯熱海温泉観光協会

会長 菅野 豊

〒963-1309 郡山市熱海町熱海 4-406 TEL 024(984)2625 / FAX 024(984)3056



(一社) 磐梯熱海温泉観光協会は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



磐梯熱海 萩

磐梯熱海温泉旅館協同組合

理事長 小口 憲太郎

〒963-1309 郡山市熱海町熱海 4-406 TEL 024(984)2182 / FAX 024(984)3056



磐梯熱海温泉旅館協同組合は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



萩姫ちゃん

不動産総合コンサルタント

有限会社グリーンフロント



● 郡山店 ☎024-983-8924

〒963-8047 郡山市富田東四丁目46番地 リュミエール富田1-E

● 三春本店 ☎0247-62-3681

〒963-7759 田村郡三春町字大町17番地2

有限会社グリーンフロントは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



ふくしまだけの転職市場

株式会社 みまの味方

☎0120-926-544

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町9-16 <http://ouencompany.com/>



株式会社みまの味方は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行 2021年3月
郡山市市民部セーフコミュニティ課
セーフコミュニティ推進室
電話 024-924-2151
FAX 024-921-1340
印刷 石井電算印刷株式会社



郡山市 セーフコミュニティ

検索



紙ヘリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙ヘリサイクルできます。



ぬり壁の家で健康な毎日を!! 有限会社 大橋工業所

左官・タイル工事

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字大久保21

TEL.024-933-9545 FAX.024-933-3088

E-mail ohashisakan@sage.ocn.ne.jp



有限会社 大橋工業所は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。